



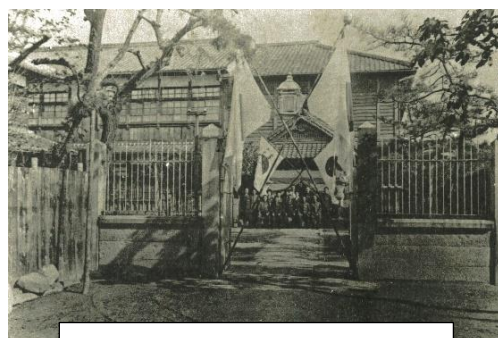
これまでの150年 これからの150年

あさって
明後日行われる今年の運動会は、偶然にも150周年の創立記念日と重なりました。当日は、特別に全校競技を実施するなど、いつもとはちょっと違う運動会を楽しみたいと思っています。

そこで、今回の校長室だよりでは、創立記念日特集として、本校の歩みを振り返ってみようと思います。

天王寺小学校は、1874年(明治7年)6月2日に東成郡第五大区一小区一番小学校として、開校しました。当時の児童数は約100名、場所は、天王寺村^{からすばし}鳥橋という所で、堀越町にある^{こうしん}庚申堂の西側にあったそうです。

そして、5年後の1879年(明治12年)には、今と同じ天王寺小学校に名前が変わりました。



天王寺第一尋常小学校

今の所在地である大道1丁目に移ったのは、1919年(大正8年)のことです。当時世界では第一次世界大戦が終わり、戦後恐慌が起こるなど、世界情勢が新たな局面に向かっていました。そのような中、学校は、1924年(大正13年)西側に鉄筋造りの校舎ができるなど、近代化が進んでいきました。そして、翌年には、天王寺区が誕生し、学校も天王寺第一尋常小学校と改名されました。

昭和時代に入ると、天王寺小学校にも災難が幾度となく押し寄せます。1934年(昭和9年)には、室戸台風の上陸によって、木造部分の校舎が倒壊しました。この台風では、四天王寺の五重塔も倒壊したそうです。



室戸台風で倒壊した校舎

そして、だんだんと濃くなった戦争の影が日本全体を覆うようになりました。1941年(昭和16年)には、国民学校令により、学校の名前も天王寺国民学校と改名することになりました。

いよいよ戦争が激しくなり、大阪市にもたびたび空襲が起こるようになりました。そのため終戦の前年には、天王寺小学校の子どもたちは、奈良県(五条町付近)へ学童疎開をすることになりました。そして、1945年(昭和20年)3月にあった大阪大空襲によって、校舎は焼失しました。

その年の8月15日に戦争が終わって、学童疎開に行っていた子どもたちは大阪に帰ってきましたが、大阪は焼け野原でももちろん学校もありません。1946年(昭和41年)4月1日から天王寺小学校は休校となり、児童は全員となりの聖和小学校に通うようになりました。

しかし、地域の方々の熱心な要望によって、天王寺小学校の再開準備が進められ、戦争が終わって10年経った1955年（昭和30年）4月1日大阪市立天王寺小学校が復校しました。復校最初の1年生は、約140人でした。となりの大江小学校や聖和小学校に通っていた2年生から5年生までの250人も編入して、約400人近い人数でのスタートになりました。



復校当時の校舎

その後、天王寺地域の復興とともに児童の数はどんどん増え続け、1959年（昭和34年）には1000人を超えるマンモス校になりました。校舎の増築も次々に行われましたが、木造校舎が取り壊されて、すべての校舎が鉄筋校舎になるには、それからまだ10年以上かかりました。

ところで、天王寺小学校で特徴的なものと言えば、南側の地下道があります。道路を渡るための歩道橋がある学校はいくつかありますが、地下道を持つ学校は全国的に見ても珍しいそうです。この地下道ができた背景には、日本の高度成長期における交通戦争とまで言われるほどの環境の悪化があります。児童の登下校の安全を守るべく、1964年（昭和39年）に創立90周年の記念事業として建設されました。ちなみに、現在の校歌や標準服などもこの時に作られました。

そして、昭和の後半から平成の時代にかけては、天王寺小学校は研究校としての実績を積み重ねていきます。数々の全国大会や研究指定を受けて、その研究成果を広く発表してきました。実は、私も今から30年ほど前に、天王寺小学校が体育科の研究発表をする際、お手伝いをしに来たことがあります。さらに、令和となった現在でも、ICTの全国大会で発表をしたり、体育科の研究に取り組んだり、より良い教育を目指して教職員一同頑張っています。

今回本校の150年の歴史を調べてみて、まだまだ書き足りないことも多く、あらためて本当にすごい学校だなと思いました。これからも歴史と伝統を大切にして、次の150年に向けてはばたく学校でありたいと思っています。引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。（参考文献：天王寺小学校創立100周年記念誌、大阪市南区大典記念誌）

くるぞ！万博 行くの？万博

来年4月に開幕する関西万国博覧会（関西万博）に大阪市の小学生が学校引率で招待されるということで先日説明会がありました。行くためには、今月中に実施希望日を決めて申し込む必要があるのですが、とりあえず可能な日を考えてエントリーしています。しかし、往復に利用する交通機関など、まだまだ未定や不明な点が多く、最終的な判断はもう少し先になりそうです。せっかくの機会ですので、ぜひ全員連れて行ってあげたいのですが、児童の安全面を考えて、今後計画の見直しや変更をするかもしれません。具体的なことは、決めた段階でお知らせします。